

### 使わなくなった校舎で、地域を元気に？

## SDGsラジオを読みましょう！

学校の校舎を自由に使えるなら、どんな使い方をしたいですか？  
 都市や住まいの開発を行う会社「東急不動産」は、秋田県の能代市で、廃校になった学校の校舎を利用して「TENOA(テナハ)能代」という施設をつくりました。  
 TENOA能代には勉強をしたり、仕事をしたり、のんびりしたり、  
 いろんな使い方ができるスペースがあって、地域の人々が自由に交流しています。  
 さらに、地域の人々が作った雑貨や食品を販売したり、そのつくり方などを学べるワークショップを開催したり、  
 いろいろなイベントが行われています。  
 このTENOA能代には毎日、小さな子どもから、おじいさん、おばあさんまで、たくさんの方が集まっているんですよ。  
 古い建物に新しい価値を生みだし、人と人をつなぎ、地域を元気にしていく。  
 みなさんの街には使われていない場所や建物はありますか？  
 そこを使ってどんなことができるか、話し合ってみましょう。

## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：くつろぎスペース「みんなのリビング」  
(TENOA能代HPより)



画像参照：シェアオフィスとレンタルオフィス  
(TENOA能代HPより)

東急不動産は、秋田県の能代市で廃校になった校舎をリノベーションして「TENOA能代」という施設をつくりました。TENOA能代には、人々が自由にくつろげるスペースや、勉強・仕事に使えるワークスペース、シェアオフィスやレンタルオフィスなどがあり、日々、たくさんの方が交流しています。また、TENOA能代では地元でつくられた食品・雑貨を販売するマーケットや、さまざまなイベントが開催され、「地域の魅力を発信する場所」としても地域の活性化に役立っています。

「TENOA能代」の大きな特徴は、廃校になった学校の校舎をリノベーションし、地域の伝統や文化を守りながら新しい価値を生み出しているところです。古い建物を新しい姿へと生まれ変わらせて、地域の活性化につなげていくことは、SDGsの目標11の「住み続けられるまちづくり」の実現にとって、とても重要なアクションです。地域の歴史や文化を大切にしながら人々がつながり、地域の魅力を発信する「TENOA能代」は、SDGsの視点からも今後ますます注目が集まることでしょう。

## キーワード

秋田県能代市

秋田県の北西部に位置する美しい海と山に囲まれた街です。バスケットボールの名門校「能代科学技術高等学校」の活躍が有名で、「バスケの街」として全国に知られています。

リノベーション

古い建物や部屋を新しくすることです。例えば、壁を塗り替えたり、間取りを変えたりして、使いやすくきれいにすることをいいます。

シェアオフィス・レンタルオフィス

シェアオフィスは、複数の人や会社が同じ場所で働くオフィスで、共有のスペースを使います。レンタルオフィスは、個別の部屋を借りて自分たちだけのスペースで働ける場所です。

## 対象ゴール



### みなさんにできること！

みなさんの街にある使わなくなった場所や建物で何ができるか、考えてみましょう。

おさらい

- 東急不動産は廃校になった校舎を利用して、「TENOA能代」という施設をつくった。
- 「TENOA能代」では地域の人々が自由に交流でき、また、地域の魅力を発信するさまざまなイベントが開催されている。
- 古いモノに新たな価値を生み出すことは、SDGsにとってとても重要なアクションのひとつ。

## メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

